



千支
巳年生れの方の
ひとこと
言



(株)サブリ

佐分利 富由



市原工業(株)

市原 公司

「心穏やかに」

十千十二支、私にとってこれまで余りに留めることが無かった単語。千支十千が一巡して暦が還る。赤ちゃんに還るということ、厄年と重なることから厄払いをすることで「赤いちゃんちゃんこ」らしい。私自身まだしばらくは現役であることは間違いなく、還暦を迎える今年は単なる通過点に過ぎないとも思っていますが、改めて健康な身体を与えてくれた両親、妻や子ども、孫たちのお陰で心穏やかに過ごすことが出来ていることを自覚し心から感謝すべき、する1年であると思います。

先輩からのお誘いもあり法人会では数年間青年部、卒業後は長く本会の事業委員会でお世話になっております。委員会の目的を達成すべくコロナ禍から現在まで試行錯誤の中、皆さまのご理解とご協力に取り組むことが出来ており、年数回の会議と1回の事業ではありますが、ある意味私にとって年代や地域を越えた異業種交流の場として存在をしています。

今後も公私ともに皆さまに大変お世話になるかと思しますので宜しくお願い致します。

とにかく「元気で健康」に「楽しく」そしてやはり「心穏やかに」



「不易流行」

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、今年も健やかな新春をお迎える事とお慶び申し上げます。

昨年は選挙イヤーでした。10月の衆議院選挙、11月にはアメリカの大統領選挙が行われ、日本もアメリカも新しいリーダーとなりましたが、今年の世界経済情勢、世界情勢が気になるところです。世界が平和で国内の政局も経済も安定する、そんな一年になってくれることを切に願うところです。

話は変わりますが、昨年の流行語大賞は「ふてほど」でした。これはテレビドラマの「不適切にもほどがある」を略したもので、主人公の阿部サダヲさんが昭和の時代から令和の時代にタイムスリップする話でした。コンプライアンスが厳しい令和と比較的何でも許された昭和を行き来するコメディでしたが、懐かしさを感じる部分もあり、主人公と同世代の私には、楽しいドラマでした。半面、時代の移り変わり、価値観の変化など考えさせられる事も多くありました。

「不易流行」私の好きな言葉ですが、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくことの意味です。時代が変わり、生活や価値観は変わっても、人・商売としての本質を忘れず、還暦後の人生を歩んでいこうと思っています。

引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い致しますと共に、皆様方の益々のご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。